

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Digby Regional High School

留学期間 : 平成 28 年 1 月 29 日 ~ 29 年 1 月 20 日

私は昨年 2016 年 1 月 29 日からカナダへ 1 年留学に行ってきました。初めは不安がたくさんあって、上手くやっていけるか心配で、全く別の言語を話す国へ 1 人で行くということへの恐怖もありました。しかし、将来私が目指す道としてあるものは世界規模のことが多く、英語を学ぶことはもちろん、その他にも留学で学ぶことが必要だったので、留学に行くことを決意し、桃山学院高等学校を受験し、無事に合格し、さらに目標であった留学に行くこともできました。

まずカナダに着いた初日、周りの人々が英語を話していることや案内なども全て英語だということに当たり前のことながら驚きました。更にその時はまだクラスメイトとの移動だったこともあり、興奮しました。見えるものや聞こえるもの全てに迫力を感じ、私はこれからここで暮らして行くのかと今まで感じたことのない不思議な気持ちもありました。その後 1 日くらいかけて私が生活する Digby という町に移動しました。そこにたどり着いた時すでに夜中で驚くほど寒かったことを覚えています。家に着くとそこにはホストマザーとドイツから来ていたホストシスターが私の到着を待っていて、感激しました。初日の夜は不安で押しつぶされそうで涙してしまいました。でも、いつまでも泣いていても仕方ないと自分の中で区切りがつき、次の日からは泣かないと決め、無我夢中で 1 年を過ごしました。私のホームステイ先はホストマザーとホストファザーとホストシスターの 4 人くらいと犬が 2 匹いました。ホストファザーは牧場主で日本では絶対できないような体験をたくさんさせてくれました。例えばメープルシロップを木の樹液から作るのを手伝ったり、鶏を仕留めて処理したり、牛や馬などにやるエサを一緒に作ったりしました。野菜やお肉が牧場でファザーが育てたものが多かったので、とても新鮮で美味しいものを食べられたのも牧場で暮らした特権だと思います。ホストファミリーには 3 人の子供がおり、更に 5 人も孫がいる大家族でした。それぞれはバラバラの家に住んでいましたが、ほぼ毎週のように集まっていたのでとても賑やかで楽しかったです。家族との一番の思い出はやはりクリスマスです。家族全員が家に泊まり込みできました。総勢 15 名ほどだったのではないのでしょうか。至る所で人が寝ていました。クリスマスの朝には 5:30 に起こされ、そこから約 5 時間、全員分のプレゼントを開けることに費やしました。カナダの凄まじさを知った瞬間です。学校には私の他にも留学生がいて、ある人が国へ帰ったり、また新しい人が来たりと 1 年の間に入れ替わりが何度かありましたが、基本的に 20 人ほどはいつもいましたので、とても過ごし易かったと思います。学校にはお世話係のようなカナダ人もいて、その人たちにとても助けられました。英語を教えてくれるのはもちろん、いろいろな所へ連れて行ってくれたり、放課後遊んだりと思い出をたくさん作りました。留学生たちとはお互いの苦労などを共感し合えて、カナダ人とはまた違う面でも仲良くなれました。特に夏の間、ESL サマーキャンプに参加したのですが、そこでは本当に多国籍の同い年くらいの生徒が沢山いて、さらに沢山の経験をすることができ、有意義な 5 週間を過ごせました。これからカナダのノバスコシア州に留学する方には本当にオススメです。完全に寮生活なので 24 時間いつでも英語

だけだし、ルームメイトもいるので、ずっと英語を話すことができます。1 日中忙しいので退屈する暇もありませんでした。

私が留学で得たことは英語力と自立心だと思います。英語力はもちろん留学の醍醐味なので、カナダにいる間も一生懸命勉強しましたし、1 年いたこともあり耳がとても英語に慣れて聞き取りが以前と比べるとかなり上達しました。自立心は、1 年間カナダ人の家族はいたけれど、基本的に自分のことは自分でするというスタイルの家だったので、成長したと思います。日本にいた時から自分の課題だった自立心ですが、家にいると母に甘えてしまうことが多かったのが現実でした。しかし、カナダという異国で暮らし、自分がしっかりしなければならぬという気持ちがとても強くなったように感じます。実際、帰国してから再会した人に少し雰囲気は落ち着いてしっかりしたと言われることが何度かあります。

これから留学で得たものを活かしていく為に、英語の勉強を続けることでこれまで培ってきた英語力が落ちないように努力し、カナダでの大変さをいつまでも忘れず、この自立心を大切に完全に自立できる日まで進んでいきたいと思います。世界的な企業で働いたり、世界の貧しい子供たちへの支援をしたりすることが私の夢であり目標なので、そのことを見失わないように努力し、社会に貢献できる人になりたいです。

これから留学する人へのアドバイスは、絶対に恥ずかしがらない！ということです。というのも、カナダでよく言われたことは「日本人は遠慮をしすぎる」です。確かに日本には謙虚という言葉がある通り、お互いを思いあった上での遠慮だったりします。しかし他の国の人からすると、それは自分の意見を表してくれないと逆に良い気はしないのです。したい事や思ったことは迷わず、どんなに言葉に自信がなくても声に出して伝えようとするのが大切です。一生懸命に何度も伝えようと努力をしていると、人は不思議とわかってくれるものです。決して不安にならず、気持ちを込めて精一杯ぶつかることが、大切です！不安に思うこともあるでしょうが、きっとあなたにとって素敵な経験になると思うので、頑張ってください！